

民進こうべ政策議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを ホームページ <http://minshin-kobe.jp/>
編集・発行/民進こうべ政策議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年第1回定例会市会（2月17日～6月27日）が開会され、2月議会が始まりました。平成29年度当初予算並びに関連議案について、民進こうべ政策議員団を代表して、岩田嘉晃議員・大井としひろ議員が市長・副市長に対して代表質疑を、各局に対する質疑を行う予算特別委員会を経て、藤原武光議員が総括質疑を、人見誠議員が一般質問を行いました。

代表質疑

岩田 よしあき 議員 (西区)

1. 人口減少化社会への対応について

Q 市長は平成29年度予算案において「若者に選ばれるまち」の施策を具体化されている。本市は学生の多いまちだが、残念ながら卒業時に神戸を離れる若者が多く、東京圏への流出が続いている。今回奨学金返還支援基金や大学交流拠点の整備等、転出超過対策が盛り込まれているが、期待される効果は？



A 「学生の地元就職の促進」や「大学関連の情報発信するポータルサイトの整備」などの施策に取組み、市内企業の情報が伝わるように広報戦略を練り、市内定住のきっかけにしていきたい。

2. 地方創生戦略の見える化について

Q 国の戦略に基づき地方も実行し、神戸市でも創生懇話会等を行うなど戦略を練っている。実施の際には企業や商工会議所・経済団体等と連携し、官民一体で取り組むべきと考えるが？

A 神戸創生懇話会には経済団体も参画し、意見を頂戴している。起業・創業では「神戸開業支援コンシェルジュ」が、雇用創出では「神戸ワーク・ネットワーク」などが組織されており、今後も経済団体と一層連携を強化し実現に向け官民一体で推進していく。

3. 市内産業の国際戦略について

Q 2月に「神戸国際港湾会議」が開催され、7カ国10地域の港と連携合意書が交わされた。今後産業別に国際的な会議を開くなど、戦略的な情報交換や発信を増やすべきと考えるが？

A 施策と関連した国際会議の誘致を更に推進し、市内産業技術の発信・人的交流場の場や、産業の活性化を図りたい。

大井 としひろ 議員 (須磨区)

1. 認知症の人にやさしいまちづくりについて

Q 認知症の人にやさしいまちづくりについて、どのように推進していくのか、伺いたい。

A 認知症対策について、本市では認知症への理解を深めるための認知症サポーターの養成、認知症初期集中支援チームや認知症疾患医療センターの体制整備などに取り組んできた。WHO神戸センターや神戸大学等と連携した認知症の早期発見・早期介入プログラムの研究、認知症高齢者が起こした事故に対する救済制度の検討など、新たな認知症対策の取り組みを推進している。

それに加え、認知症に関する条例の制定についても検討を開始した。

2. 人口減少社会に対応したニュータウンの再生について

Q 市営地下鉄西神線と阪神・阪急・近鉄等との相互直通運転で、西神地域や須磨ニュータウンが繋がり阪急沿線となれば、イメージもアップし若者を中心に大阪圏の人たちも移り住んでいただけるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。

A 阪急神戸線と神戸市営地下鉄との相互直通運転の検討については、平成26年度から阪急電鉄との勉強会を行ってきた。率直に言うと、莫大な事業費がかかり、技術的に可能かどうかも十分には解明できておらず、簡単なものではない。

しかし、ご指摘のように相直が実現すれば、西神山手線の利便性を高めることになり、西神山手線沿線への人口定住を促進する観点からも意義があると考えている。

今後は、既存の鉄道網も含めたネットワークのあり方など、様々な観点から検討を深めていきたいと考えている。



久元市長

大井としひろ議員